

建築家が手づくりイベント

札幌で開催、手応えアリ

全国にまたがる設計事務所を中心とした建築家グループ札幌を結成。3月5日(土)、6日



パネルを前に集まるメンバー

ど、札幌の設計事務所5社でアーキコップ札幌を結成。3月5日(土)、6日(日)の両日、北ガスショールーム・サガティックで「顔の見える家づくり展」を開催した。設計事務所が自前で費用を出し合い、お客さまと直接触れあい、相談を受け付ける場として、今後もイベントを開きたい意向だ。

今回のイベントは昨年5月から企画。意見の違いなどを乗り越え、帯広や東京のイベントを視察したりして、当日に至った。5社の設計事務所が中心となり、パートナーとして大岡産業(株)の協賛を得て手づくりで企画し、

チラシは札幌市内3万枚に折り込んだ。会場はパネル展示のほか、模型や設計資料をそれぞれが持ち込み、訪れたユーザーに説明していた。また、相談コーナーを設け、リフォームの相談などもあったという。来場者は約50名を数えた。

事務局を務める坂井正周氏(お茶の水設計工房代表)は「エンドユーザーとの接点を手づくりでつくりたかった。パートナーとして参加くださった大岡産業さんとは出資額も対等で、お互いにメリットになる関係だ。3月3日(木)にチラシを折り込み、この日だけでメルメールマガジンへの申し込みが11件もあるなど、

最初のイベントにしては反応は良好だと思う。半年後には2回目のイベントを開きたいと思っており、参加する設計事務所を募集している」と語っている。問い合わせは坂井氏まで(090・8903・4129)。

北方型サポートシステム 内容を一部変更 4月1日から実施

（財）北海道建築指導センターでは、北方型住宅サポートシステムを(住)住宅履歴情報蓄積・活用推進

変更内容は次の通り。
①入力必須項目として、建築主名と住居表示のふりがなおよび郵便番号を追加。
②設計図書1ファイルあたりの保管容量を、3MBから10MBに増加(写真についてはこれまでと同じく1ファイル3MBが上限)。
③北方型住宅登録・保管申請書および登録・保管書の住所は住居表示とする。

なお、住宅履歴情報蓄積・活用推進協議会は、住宅履歴情報サービス機関等で構成される団体で、昨年5月に設立。住宅履歴情報サービスの基本指針策定や業務ツールの整備などを行っている。道建築指導センターも正会員になっている。

ホームページ <http://www.hokkaido-ksc.or.jp/>

客足が遠のく中心市街地

全国各地の市町村で中心市街地の衰退が非常に目立っている。一般的には自治体が活性化のプランをまとめ、中心街の再整備に乗り出すケースが多いが、富良野市の場合は、むしろ地域の民間企業経営者らが打開策を打ち成果をあげている。全国各地から視察者が訪れている「フラノ・マルシェ」を取材した。(シリーズ16回)

富良野市は年間2000弱の店舗があるが、商人ももの観光客が訪れる。店街の年間商品販売額で、多くはスキーやラベンダー、ドラマ「北の国から」のロケ地などといった観光スポットが目当てで、実は中心市街地に観光客が訪れることは少ない状況だった。中心市街地は、JR富良野駅を中心として20

が対応できていない状況で、中心部での生活のしにくさ、高齢化などといった課題も発生している。さらに、富良野協会病院が移転。毎日約2000人が外来や見舞いで訪れており、隣接する商店街にとっては客足が遠のくことも必至の状況だった。

こうした状況の中で、地元の商工会議所のメン

バーと、ふらのまちづくり(株)、商店会、市などによって設立した「中心市街地活性化協議会」は基本計画構想を市に提出。これを受けて市も、中心市街地活性化基本計画を策定、国の認定も受けた。その中で軸となった

のは、基本計画構想にもあった、観光客を中心市街地に呼び寄せ、同時にまちの滞留拠点にもなりうる「フラノ・マルシェ」だ。

富良野市出身の若手デザイナーやパン職人を招聘しオープンした。施設内には、周辺の飲食店などに人が流れるように、本格的な食事をするレストランなどは出店させず、商店街の店を案

中心市街地の活性化や観光施設の運営に関して、必ずしも専門家ではない地元企業らが、地域資源を再発見し、コンセプトづくりや資金集め、自治体を説得、集客から運営に至るまで様々な困難を乗り越えた。そして大盛況のうちにまもなく1年を迎えようとしている。

ニーズ ウオッチング Vol.16 民間主導でまちづくり



地元住民や観光客でにぎわう「フラノ・マルシェ」

この不況下でも事業継

2010年4月のオープン以降、11月末までの7カ月間で40万5000人が来場している。地元企業などが連携して中心市街地の活性化に取り組むという民間主導の取り組みがメディアの注目を集め、テレビ番組は17回、新聞やラジオなどでも紹介された。その他、高橋はるみ知

7カ月で40万人が来場

寒冷地の開口部を変える

木製3層ガラス窓 エリートフェンスタ

- ▷ 抜群の断熱・防露性能
トリプルガラスでトップクラス (Super Energy 熱貫流率1.2W/mk)
- ▷ 防犯性能と通風を両立
こじ開けに負けない換気ポジション
- ▷ 安心のアフター体制
万一の故障や調整、急な発注も安心

スウェーデンで最高の評価!!
木製窓比較テストの結果、エリートフェンスタが「8社のベスト」と評価されました (Rad&Rön誌による)。

GADELIUS ガデリウス株式会社 札幌営業所
〒065-0024 札幌市東区北24条東15丁目4-10 第2日弘ビル5階
Tel.011-743-7710 Fax.011-743-7721
<http://www.livingscandinavia.com/>
eメール kenzai@gadelius.com